

## <残留塩素を除去する方法>

残留塩素を除去する方法は色々ありますが、その中でご家庭でできる方法をいくつかご紹介しますので、残留塩素が気になる方は一度試してみたいはいかがでしょうか。

### 1. 沸とうさせる

沸とうさせると、残留塩素は分解して揮散します。最も簡単な残留塩素除去方法です。沸とうしてからしばらくは加熱を続けてください。市販されている電気ポットには、カルキ抜き機能がついているものがあります。

### 2. 日光をあてる

日向水（ひなたみず）という言葉を目にしたことがあるでしょうか。水道水には、ご存知のとおり残留塩素が含まれています。そのため金魚などの生物を飼育する際は、川などの水環境と同じ状態に近づけるため、残留塩素を除去する必要があります。水道水に含まれる残留塩素は、日光の紫外線により分解、揮散するため、半～1日程度日光に当てておけば水道水を飼育用に使用することができます。カルキを抜くための錠剤（ハイポ）が市販されているので、こちらを使用する方法もあります。

### 3. レモンをしぼる

レモンに含まれるビタミンCには還元作用があるため、酸化作用のある残留塩素と反応して分解することができます。ビタミンCが含まれている食品ならこの反応で残留塩素が除去されるので、特にレモンにこだわる必要はありません。喫茶店等々で出てくるレモン水は、残留塩素を除去する効果とレモンの風味で水に爽快感をつける効果の2つを同時にねらったものといえます。

### 4. 緑茶にとおす

緑茶に含まれるカテキンには還元作用があるため、酸化作用のある残留塩素と反応して分解することができます。レモンをしぼるのと同じような手軽さで、残留塩素を除去することができます。

### 5. 活性炭にとおす

活性炭の表面には目では見えない小さいすき間が空いていて、そのすき間に色々なものを取り込む性質があります。空気中や水中のにおい物質を吸着する性質から、ご家庭において脱臭剤として使用されている方もみえるのではないのでしょうか。この活性炭は、残留塩素も取り込む性質があるため、水道水を活性炭に通すことで残留塩素のない水が得られます。